

新年度が始まりもうすぐ2カ月。学校生活にも慣れ、家庭での生活リズムが崩れがちな時期でもあります。
そこで、今回は、令和4年度に実施しました“子育て応援「ゆい高千穂」事業”の生活リズム三行詩とポスター
に応募のあった作品の中から入選作品をご紹介します。
規則正しい生活リズムができているか、家庭で振り返ってみましょう。

生活リズム三行詩

＜小学生低学年の部＞

★大賞
はやおきて
めざましどけいに
かちたいな

(岩戸小・馬原 璃空)

いちにちの
げんきをじゆうでん
あさごはん

(高千穂小・尾賀 叶真)

とうちゃん
はやおきしようぶ
まけないぞ

(押方小・飯千 虎徹)

いいにおい
たまにはいいな
パパごはん

(高千穂小・橋本 景慈朗)

あさおきて
もくひようきめて
ちようせんだ

(高千穂小・田崎 圭一郎)

すいみんは
あしたのための
エネルギー

(岩戸小・佐藤 陽馬)

ゴシゴシと
家族てみがく
虫歯ゼロ

(高千穂小・藤野 柚)

おはようで
自分のカラダに
スイッチオン

(岩戸小・馬原 逢人)

朝おきて
光をあびて
元気いっぱい

(高千穂小・大木 翔太)

★大賞
ねる前は
メディアもおやすみ
また明日

(高千穂小・菅 彩乃)

朝ごはん
しっかり食べて
フルチャージ

(高千穂小・池田 紳忠郎)

メディア時間
へらしてふえる
会話時間

(田原小・新名 泰鵬)

毎日の
笑顔をつくる
あさごはん

(高千穂小・興梠 心花)

「おはよう」と
ねぼけ顔正す
母の声

(高千穂小・吉永 理乃)

毎日の
早寝早起
宝物

(上野小・野尻 勘太)

朝ごはん
家族みんなで
いただきます

(上野小・安在 昂琉)

いいことあった！
「早起きは三文の得」って
ほんとだね

(高千穂小・田中 鈴花)

朝だよと
おこしてくれる
せみの声

(高千穂小・馬原 莉暖)

★大賞
テレビオフ
家族のごはん
会話オン

(高千穂中・田上 璃子)

チューブ
見すぎはアウト
You 注意

(高千穂中・谷川 芽巳)

スマホより
子どもに伸ばそう
あなたの手

(高千穂中・戸高 磨弘)

ゲームより
生活習慣
レベルアップ

(高千穂中・甲斐 杏菜)

寝た時間
明日の自分に
影響大

(高千穂中・大賀 美海)

宿題中
通知音に気を引かれ
気づいたらあれから一時間

(高千穂中・佐藤 龍希)

スマホより
話して増やそう
みんなの笑顔

(高千穂中・松崎 雫)

メディアには
時間とやる気
吸われてく

(高千穂中・興梠 龍央)

★大賞
おうち時間
メディアの海に
おぼれない

(高千穂中・橋本 泰市)

生活リズムポスター



(上野小・東郷 渚)

◇入賞者

興梠笑武(高小) 吉永理乃(高小)
橋本妃子(高小) 佐藤岳(高小)
木田百翔(高小) 藤野華(高小)
甲斐友菜(高小) 伊藤恵菜(高小)
富高椰月(高小) 土持羽瑠(高小)
鶴田姫菜(高小)

ポスターの入選作品はカレンダーとして小中学校や町内施設に掲示しています。

※学校名は応募当時のものです。



環境へやさしい
菌活性液づくり

4/21

町商工会女性部(児嶋佐代子部長)の岩戸支部が岩戸小学校を訪れ、6年生(16人)とEM菌活性液づくりを行いました。

液づくりは、環境問題やふるさとの山や川の大切さを知ってもらおうと、約10年前から毎年行っており、作った液は、2週間ほど発酵させのちに、プールへ投入。微生物の働きにより、汚れを分解させる効果を利用した清掃を行っています。

液づくりを終えた稲葉滉太さんは「2回目なのでスムーズにできた。きれいになってくれるとうれしい」。谷川鈴留さんは「2回目で楽しかった。掃除が大変なのできれいになってほしい」と感想を述べました。



今年も大盛況
菜の苗販売

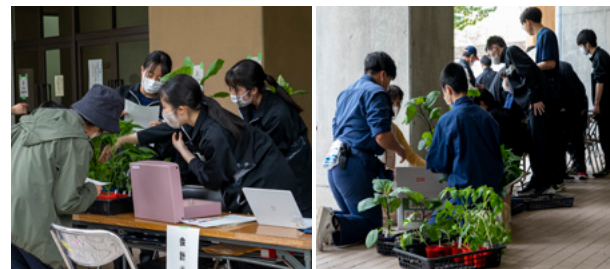
4/19

高千穂高校生産流通科2、3年生が、実習で育てた野菜苗の販売会を町武道館で行いました。

会場には、開始前からピーマンやナスなど約20種の苗を買い求め町民らが長蛇の列をつくり、にぎわいをみせていました。

当日は、経営情報科3年生と情報ソリューション科2年生も販売実習として参加。次々と訪れる買い物客への対応を生産流通科生徒と共に販売をしました。

生産流通科3年河野宏輝さん(野菜班リーダー)は「昨年より来場者が多く忙しいが、喜んでもらえるのでとてもうれしい。これから、勉強や野菜づくりをきちんとやり通したい」話しました。



延岡しろやま支援学校高千穂高校
生コーススタート ～「共生社会」の実現に向けて、共に前へ～

4/10

延岡しろやま支援学校高千穂校寄稿

県立延岡しろやま支援学校高千穂校(出水悌二校長、3名)の始業式が行われました。延岡しろやま支援学校高千穂校は、県立高千穂高等学校(長友美紀校長、265名)の敷地内にあり、県内唯一の特別支援学校の分校です。

延岡しろやま支援学校高千穂校と高千穂高等学校は、年間約80時間もの交流および共同学習を実施しており、県内唯一また全国的にも珍しい取り組みを行っています。

本年度、延岡しろやま支援学校高千穂校は、この特色あるカリキュラムを「共生コース」と名付け、スタートすることになりました。「共生コース」スタートにあたり、両校は共生社会実現に向けての誓いの文書を交わし、互いに人格と個性を尊重し支え合い、多様な在り方を相互に認め合う共生社会の実現に向けて共に前に進むことを確認しました。

出水校長は「同じ高校生どおしが将来に向けて学び合うことで多様な価値観を尊重する人格形成を行ってほしい」。長友校長は「共生社会実現に向けての非常に貴重な取り組み。楽しく学び合うことで両校一緒に前に進んでいきたい」と、これからの両校の歩みに期待を膨らませています。

※学校見学を随時受け付けています。ご希望の方は、延岡しろやま支援学校高千穂校(☎0982-73-1077)教頭または教務主任までご連絡ください。



「共生社会実現に向けての誓いの文書」を手にする笑顔の長友校長(左)と出水校長(右)